

タイトル 放射線治療装置の精度管理用カセット及び精度管理方法		
技術分野 <input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input checked="" type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> その他()	利用分野・適用可能分野 医療機器産業(放射線治療) FILMメーカー(カセット)	情報メモ 別紙資料: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 サンプル: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見学: <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 その他:
提供特許情報(出願番号等 / 出願日 / 出願人) 出願番号: 特願2006-222789 出願日: 2006年8月17日 発明の名称: 放射線治療装置の精度管理用カセット及び放射線治療装置の精度管理方法 出願人: 学校法人久留米大学		関連特許番号
目的・効果・特徴 【目的】 定位放射線治療(放射線を数回に分け照射することで、病巣部へ多方向から集中的に照射)等の外部照射に用いるリニアック(直線加速装置=単線源方式放射線装置)における、病巣部照射位置へより高精度にかつ簡便に照射するための、当該装置における照射位置(回転における3軸)の決定方法、精度管理方法および使用機材を提供する。 【従来技術(X線フィルムでのスターショット解析法)の問題点】 1) フィルムの弾性が大きいこと、暗室操作を余儀なくされ、正確な位置(回転中心(アイソセンタ)とフィルム中心のずれによる)決めが難しく熟練を要する。 2) 繰り返し使用ができないことから、煩雑作業となる。 【特徴】 輝尽性蛍光体プレート(=蛍光体プレート)の潜象退行現象をスターショット解析法に応用し、高精度な照射位置の決定を簡便かつ熟練を必要としなく容易に行うことを可能とした。加えて繰り返し使用可能な部材を用いることから、経済的に実施することを可能とした。		
技術概要 輝尽性蛍光体プレートを収容したカセットを用いて、スターショット画像をX線フィルム法と同様に撮影し、カセット中心部の穴を開けた表面部分に対し、自然光で輝尽性蛍光体プレートの中心にフェーディング現象を起こさせ、スターショット画像上に、基準点を写し込み、その中心点(外部レーザー光の交点)とスターショットの中心(交差)点(=アイソセンター)とのずれを測定することで、正確に照射位置を決定する。 本プレートは、暗室での操作を必要としないこと、弾性による歪みも少ないことから、従来法に比較して高精度且つ簡便に決定することができる。		
図・特記事項・その他		
		